

避雷針の接地抵抗の測定方法について

マルチ計測器(株)

近年、IT機器や情報システムへの雷害が増えてきています。そのため新しいJIS規格A4201:2003では、避雷設備の定期的な検査を行うことが基本的条件とされています。

しかし、市街地での接地抵抗の測定は従来の接地抵抗計では接地棒を打ち込む必要があるために容易に行うことができません。弊社のクランプ接地抵抗計[MET-1/MET-2]は、接地線にクランプするだけで簡単に接地抵抗が測定できます。

避雷針の接地抵抗の測定は、付属の補助リード線でビルの鉄骨等とループ回路を形成することで容易に測定できます。(下図参考)

